

## 令和2年度 WEC 応用生態研究助成 審査結果

令和2年度 WEC 応用生態研究助成の募集に24件のご応募をいただきました。

採択の審査にあたっては外部審査委員による審査委員会を開催しました。審査委員会においては、新規性、ダム管理にとっての重要性、結果の応用性・現場への適用性、研究の実現性等の観点から、申請された研究課題について評価を行いました。厳正なる審査の結果、下記の4件を助成研究として採択することになりました。

採択された研究が良い成果を上げることを期待します。

### 令和2年度 WEC 応用生態研究助成 採択研究

助成番号	研究テーマ	氏名	所属	助成年数
2020-01	中海-宍道湖を介した流入河川を利用する回遊魚に対してダム・堰が及ぼす影響の評価	高原輝彦	島根大学生物資源科学部	1
2020-02	定量PCR法を利用した水道水源地におけるカビ臭産生微生物の早期検出手法の開発	土居秀幸	兵庫県立大学大学院シミュレーション学研究科	1
2020-03	流域に火山を有するダム直下の減水区間におけるガス湧出帯の水環境とその影響の解析	宇佐見亜希子	名古屋大学減災連携研究センター	2
2020-04	ダムの存在による河川洪水の攪乱頻度と強度の変化が河畔林の立木腐朽に与える影響	宮本敏澄	北海道大学大学院農学研究院 造林学研究室	2

また、令和元年度に2年研究として採択された下記3件については、今年度研究を継続することになりました。研究がより進展することを期待します。

### 令和2年度 WEC 応用生態研究助成 継続決定研究

助成番号	研究テーマ	氏名	所属	助成年数
2019-02	ダム撤去・ダム通砂による土砂供給の改善は河口干潟の生態系にどのように寄与したのか	鬼倉徳雄	九州大学大学院農学研究院	2
2019-03	ダム湖における外来魚調査のための環境DNAチップの開発	中尾遼平	山口大学大学院創成科学研究科	2
2019-04	三春ダムの魚類および湖内環境の空間的評価とその関係の解明	南 憲吏	島根大学エスチュアリー研究センター	2